

保健管理センター

所長(併任) 矢野三郎
講師 斎藤清二
文部技官 吉田百合子

◆ 原 著

- 1) 斎藤清二, 渋谷 隆, 西村信行, 山崎国男, 樋口清博, 井上恭一, 佐々木博, 能況明宏, 中野 護, 井口一夫: 慢性膵炎症例に対する Trepibutone の臨床的検討. 肝胆膵 15:299-305, 1987.

◆ 学会報告

- 1) 斎藤清二, 柴田外志夫: 胃症状に固着を示した大学生登校拒否の一症例. 第19回日本心身医学会中部地方会, 1987, 2, 名古屋.
- 2) 月城孝志, 井田一夫, 樋口清博, 井上恭一, 佐々木博, 斎藤清二: Laxative abuse Syndrome の一症例, 第19回日本心身医学会中部地方会, 1987, 2, 名古屋.
- 3) 斎藤清二, 樋口清博: 大学生の健康管理における心身医学的アプローチ-特に未組織心身症への対応について-, 第28回日本心身医学会総会, 1987, 5, 仙台.
- 4) 斎藤清二, 吉田百合子, 加須屋実: 大学生における上部消化管疾患(2)-心身医学的アプローチ-, 第25回全国大学保健管理研究集会, 1987, 10, 長崎.
- 5) 吉田百合子, 斎藤清二, 加須屋実: エゴグラムのパターン分類とUPIの関連性について, 第25回全国大学保健管理研究集会, 1987, 10, 長崎.
- 6) 柴田外志夫, 斎藤清二: 多彩な身体症状を呈した一症例への絶食内視鏡法の試み, 第20回日本心身医学会中部地方会, 1987, 9, 金沢.
- 7) 北川鉄人, 広瀬昭一郎, 辻 政彦, 野尻裕之, 斎藤清二: ERCP などの検査で10年間治療経過について観察し, 手術後(1.5年)経過良好な慢性アルコール性膵炎の1症例. 第33回日本消化器内視鏡学会総会, 1987, 5, 大阪.
- 8) 西村信行, 窪田芳樹, 山崎国男, 渋谷 隆, 佐々木博, 斎藤清二: 膵癌培養細胞系における各種レクチン結合性と腫瘍マーカーの局在との関連について, 日本膵臓学会第18回年次大会, 1987, 7, 大津.
- 9) 足立浩司, 山崎 徹, 稲土修嗣, 渋谷 隆, 斎藤清二, 青山圭一, 井上恭一, 佐々木博, 鈴木康将, 田沢賢次, 若木邦彦, 小泉富美朝: 腹部腫瘤を初発症状とした giant follicular lymphoid

hyperplasia の1例, 第134回日本内科学会北陸地方会, 1987, 3, 金沢.

- 10) 斎藤清二, 佐々木博: ヒト膵臓癌由来培養細胞株 (HuP-T1, HuP-T3, HuP-T4) の樹立とその性状, 第4回ヒト細胞研究会シンポジウム, 1987, 11, 東京.

動物実験センター

センター長(併任) 小西健一
助教授 東條英昭
教務職員 久保政美
文部技官 栗山正彦
文部技官 村藤貞雄
文部技官 長谷川実等
文部技官 坪田 一
文部技官 矢後正美
文部技官 吉田勝美

◆ 原 著

- 1) Tojo H., Fukumaki Y., Ogita Z.: Experimental production of transgenic mice carrying human β -globin genes. Exp. Anim., 36(1), 11-16, 1987.
- 2) 東條英昭: 形質転換動物の畜産領域への応用. 東海畜産学会報, 34, 29-35, 1987.
- 3) 長谷川実: 実験用ネコの「鼻かぜ」およびインフルエンザ症状, 実験動物技術, 22, 93-95, 1987.

◆ 学会報告

- 1) 東條英昭, 服巻保幸, 荻田善一: ヒト α/β -グロビン遺伝子のマウスへの導入, 第60回日本生化学会, 1987, 10, 金沢.
- 2) 東條英昭, 久保政美, 服巻保幸, 荻田善一: ヒト α/β -グロビン遺伝子の導入によるトランスジェニックマウス, 第16回関西実験動物学会, 1987, 12, 大阪.

◆ その他

- 1) 東條英昭: 第6回富山カンファレンスに参加して「形質転換動物の現状と将来」実験医学, 5, 98-99, 1987.
- 2) 東條英昭: 遺伝子導入によるトランスジェニックの応用, 科学技術庁「発生工学的技術の応用に関する調査推進委員会」報告書, 1-35, 1987.